



Ape50 / 100用 オイルクーラーキット 取扱説明書

(ラバーホース)

商品番号 : 09 07 2225 (4 Fin / スーパークール)
09 07 2226 (3 Fin / スーパークール)
09 - 07 - 2223 (4 Fin / コンパクトクール)
09 - 07 - 2224 (3 Fin / コンパクトクール)

適応車種およびフレーム番号

HONDA Ape50 : AC16 1000001 ~
Ape100 : HC07 1000001 ~

当社製 ボアアップキット又は当社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着しなければ、本キットを取り付ける事は出来ません。

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
当製品を取り付けると、Ape純正フロントフェンダーはフェンダー後部がオイルクーラーと干渉して、そのままでは装着出来ません。フェンダーを干渉しない形状にカットして下さい。
当製品の取り付けには、タンク脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に作業を行って下さい。
当製品は、適応車種に合致する車両で、当社製ボアアップキット又は当社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着している車両に取り付ける事が出来ます。また、ボアアップキットとダイカストマグネシウムクラッチカバーの両方とも装着している車両はオイルの取り出し方式を選択することが可能となっております。
ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車両に本キットを取り付けする場合には、カバー部に傷が付かない様に注意して作業を行って下さい。塗装が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装を行って下さい。

⚠ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告

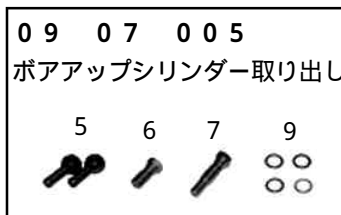
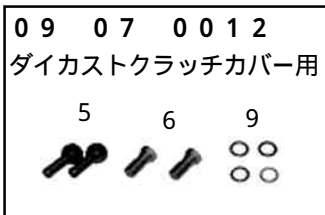
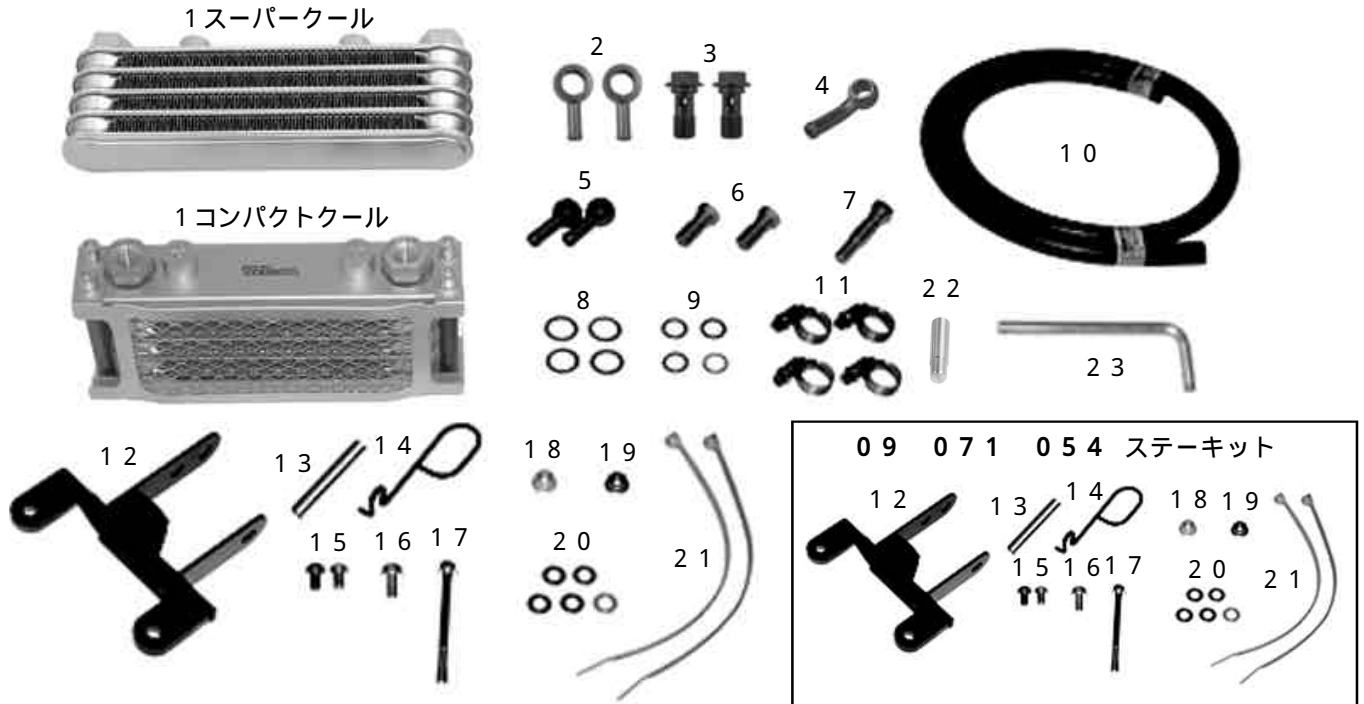
下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラーComp.(スーパークール 4-Fin)	1	09 072 004	1
	オイルクーラーComp.(スーパークール 3-Fin)	1	09 072 002	1
	オイルクーラーComp.(コンパクトクール 4-Fin)	1	09-072-011	1
	オイルクーラーComp.(コンパクトクール 3-Fin)	1	09-072-010	1
2	オイルユニオン M12	2	09-071-041	1
3	ユニオンボルト M12	2	09-071-013	1
4	バンジョー(30°)	1	15661-KTK-T00	1
5	バンジョー	2	15660-000-T00	1
6	バンジョーボルト M10(ショート)	2	09-071-010	1
7	バンジョーボルト M10(ロング)	1	15531-GEY-T00	1
8	シーリングワッシャ 14mm	4	09-071-032	5
9	シーリングワッシャ 10mm	4	09-071-015	10
10	オイルホース(1300mm)	1	09-070-063	2m
11	ホースクランプ	4	09-071-038	2
12	オイルクーラーステー Comp.	1	15660-GEY-T00	1
13	クーラーステーディスタンスカラー	1	15664-GCR-T00	1
14	フロントケーブルガイド	1	51530-GEY-T00	1
15	ボタンヘッドスクリュー M6x10	2	BW-00-0013	5
16	ボタンヘッドスクリュー M6x25	1	BW-00-0033	5
17	フランジボルト 6x65	1	BW-00-0034	2
18	フランジナット 6mm	1	BW-02-0009	6
19	フランジUナット 6mm	1	BW-02-0003	6
20	ブレーンワッシャ 6mm	5	BW-01-0001	10
21	インシュロックタイ 250mm	2	09-071-044	4
22	オイルホールプラグ	1	19331 GEF T00	1
23	Lレンチ 4mm	1		

補修パーツは、上記リペア品番にてご発注下さい。又、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませ、お願い致します。

— オイルクーラーキット使用上のご注意 —

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモユニット（02-01-5002）を取り付けて下さい。

何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意ください。

又、クラッチカバー付き車両で、シリンダーにオイルホースを取り付けた場合は、絶対にオイルホールプラグやサーモユニットは取り付けしないで下さい。オイル通路が遮断されエンジンが破損します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

作業を始める前に

1. キット内容をご確認下さい。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. 車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させ、ホンダ純正サービスマニュアルを参考にシート、フューエルタンク、フロントフェンダーを取り外します。
オイルクーラーを取り付けると、純正フロントフェンダーはフェンダー後部がオイルクーラーと干渉して、そのままでは装着出来ません。フェンダーを干渉しない形状にカットして下さい。
4. フロントフューエルタンクパッド下部の穴に クーラーステーディスタンスカラーを入れます。



5. 先ほど通したカラーとフレームを、 オイルクーラースターC omp . で挟む様に入れます。

フランジボルト6×6.5に、 プレーンワッシャ6mmを通して、車体左側よりボルトを通して、 プレーンワッシャ6mmと フランジナット6mmを取り付けます。
クーラースターをフレームに押し付けた状態でフランジナットを規定トルクで締め付けます。

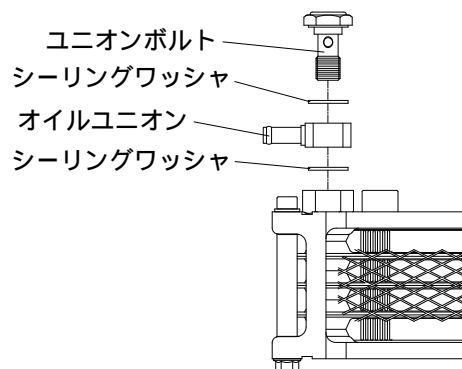
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



6. ボタンヘッドスクリュー6×10に、 プレーンワッシャ6mmを通して、先ほど車両に取り付けたオイルクーラースターC omp . にオイルクーラーC omp . を取り付け、規定トルクで締め付けます。
トルク：9N・m（0.9kgf・m）

7. ユニオンボルトに、 シーリングワッシャ14mm、 オイルユニオン、 シーリングワッシャ14mmの順で通し、 オイルクーラーC omp . に仮締めします。

△注意：シーリングワッシャが、オイルクーラーヘッダー（6角部分）の凹部からずれた状態でユニオンボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。

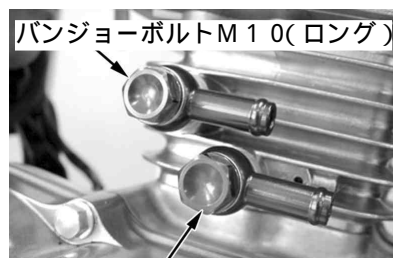


8. お使いになる車両のオイル取り出し方法に応じて、シリンダーのオイルラインから取り出す場合
ダイカストマグネシウムクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合
の項目に進んで下さい。

シリンダーのオイルラインから取り出す場合

1. オイル受けを用意して、シリンダー右部のオイルライン取り出し穴のオイルプラグボルトを外し、 バンジョーボルトM10（ロング）に、シーリングワッシャ10mm、 バンジョー、 シーリングワッシャ10mmの順で通し、シリンダー上側のオイルラインに仮付けします。
ご使用になる車両のボアアップシリンダーが、ビッグフィンタイプの場合は、 バンジョー（30°）を使用して下さい。
2. バンジョーボルトM10（ショート）に、 シーリングワッシャ10mm、 バンジョー、 シーリングワッシャ10mmの順で通し、シリンダー下側のオイルラインに仮付けします。

△注意：この時、シーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま取り付けると、オイル漏れの原因となります。

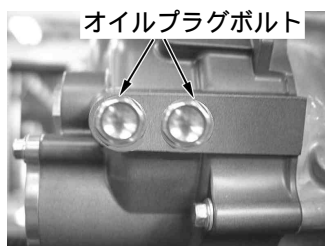


バンジョーボルトM10(ショート)

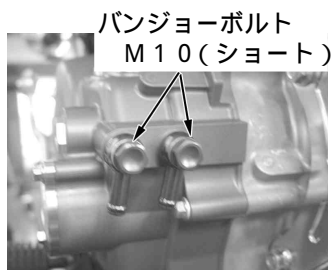
3. オイルホースを適当な寸法に切断し、両端に ホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたオイルユニオンと、シリンダーに取り付けたバンジョーに差し込みます。
4. 仮付けしてあるオイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。
5. ユニオンボルトと、バンジョーボルトM10を規定トルクで締め付けます。
 ユニオンボルト（オイルクーラー側）
 : $25 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
 バンジョーボルトM10（シリンダー側）
 : $13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
- △注意：オイルクーラー側のユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。
6. ホースクランプを締め付け、オイルホースが遊ばないように21 インシュロックタイでフレームと共に束ね、ホースの動きを規制します。
7. 最終確認の項目へ進んでください。

クラッチカバーのオイルラインから取り出す場合

1. オイル受けを用意して、クラッチカバー側面部（車両前側）にあるオイルプラグボルトを取り外します。

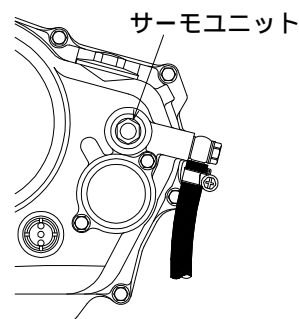


2. バンジョーボルトM10（ショート）に、シーリングワッシャ10mm、バンジョー、シーリングワッシャ10mmの順で通し、クラッチカバーに仮付けします。



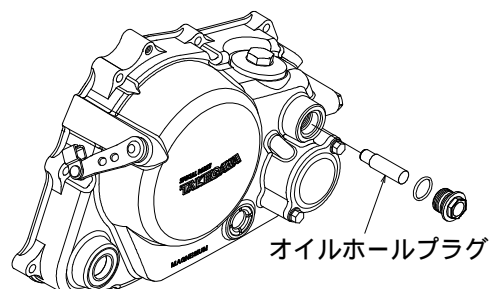
3. キット付属の オイルホースを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端に ホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたオイルユニオンと、クラッチカバーに取り付けたバンジョーに差し込みます。
4. 仮付けしてあるオイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。
5. ユニオンボルトと、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。
 ユニオンボルト（オイルクーラー側）
 : $25 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
 バンジョーボルトM10（クラッチカバー側）
 : $13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
- △注意：オイルクーラー側のユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

6. ホースクランプを締め付け、オイルホースが遊ばないように21 インシュロックタイでフレームと共に束ね、ホースの動きを規制します。クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。
7. (サーモユニットを取り付ける場合)
 ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
 サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。

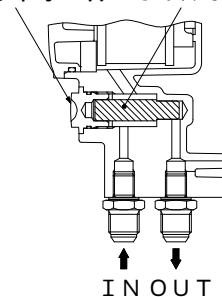


(サーモユニットを取り付けない場合)

- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- ・サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。
 トルク $13 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



サーモスタットホール キャップ



8. エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等の有無を確認して下さい。エンジンを止め、約一分後にクラッチケースカバーのオイルポッドウインドでオイルの量を確認し、少ない場合は必ず補充して下さい。

⚠ 注意

クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、（購入時の状態）必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。
 何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性が有ります。

9. 最終確認の項目へ進んで下さい。

最終確認

1. 取り付けの為に外した外装類やマフラーがあれば、元通り車両に取り付けます。
2. フロントフォーク L に付いている純正フロントケーブルガイドを取り外し、キット内のフロントケーブルガイドに交換し、ボタンヘッドスクリュー 6 x 2.5、プレーンワッシャー 6 mm、フランジナット 6 mm を使用して取り付け、規定トルクで締め付けます。

: 12 N・m (1.2 kgf・m)

ホンダ純正サービスマニュアルを参考にフロントブレーキパネルからフロントブレーキケーブル、スピードメーターケーブルを取り外し、フロントケーブルガイドに通した後、取り外しの逆の手順で取り付けます。

フロントブレーキケーブルのテンションが変わるので、サービスマニュアルを参考にケーブルの遊びを調整して下さい。

フォークをボトムさせ、ケーブル干渉が無いかを確認して下さい。



3. ステアリングを左右一杯に切り、取り付けしたオイルクーラーやステアリング類が、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。
4. スパークプラグを外し、キックスターターを複数回踏みおろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。
5. エンジンオイルを、オイルクーラー容量程度 (4 - Fin 60 cc・3 - Fin 40 cc) 追加し、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れの有無を確認して下さい。

エンジンを止め、約 1 分後に車体を垂直に立てて、オイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

△注意：エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので、十分注意して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>